

科目名	伝統産業論				
英語科目		ナンバリング	CKcu1201		
開講期	春学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2年次
教員名	佐藤 敬二	単位数	2単位		

授業概要／Course outline

経済産業省が産地指定した伝統的工芸品、京都府が認定した伝統産業、京都市が認定した伝統産業など京都には65種類以上の伝統的工芸品の業種がある。地方の伝統産業と京都のそれらの違いについて考察し、その内包する共通の特徴を探る。伝統産業が将来永劫に栄えるには何が必要だろうか。生産現場の課題や販売戦略の課題を整理し、将来に向けその解決策を探り、業界（工房・販売店）の振興に役立つような対応策や計画について考えたい。

授業内容・授業計画／Course description・plan

- ・第1回 テーマ：京都の生活文化と伝統産業 伝統産業とは？ 授業スケジュールの確認。
- ・第2回テーマ：職人尽くし絵に見るものづくり産業。
- ・第3回テーマ：金壁障壁画と伝統意匠
- ・第4回テーマ：近世琳派～近代琳派の意匠 全国の伝統的工芸品指定産地について
- ・第5回テーマ：東京遷都と京都の産業振興施策について
- ・第6回テーマ：伝統産業の近代化と意匠1 浅井忠と関西美術院、京都高等工藝学校
- ・第7回テーマ：伝統産業の近代化と意匠2 神坂雪佳・谷口香嶠と五二会、佳都美会、
- ・第8回テーマ：伝統産業の近代化と意匠3 京都高等工藝学校と京都市美術工藝学校の役割
- ・第9回テーマ：西川一草亭・津田青楓・杉林古香と「小美術」
- ・第10回テーマ：西陣織と京友禅
- ・第11回テーマ：京指物と竹工芸
- ・第12回テーマ：京仏壇、京漆器
- ・第13回テーマ：金属工芸 鍛金・彫金・鋳物・象嵌・七宝
- ・第14回テーマ：和紙工芸と唐紙
- ・第15回テーマ：その他 諸工芸

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

博物館や資料館、伝統産業会館の催しを随時紹介するので、各自フィールドワーク・調査を行う事。教室での学習の時には、事前配布の資料を事前学習してくる事。

授業の到達目標／Expected outcome

主要な京都の伝統産業の意匠の文化的背景、製造工程、経営し実態を理解し、その課題を理解する。今のライフスタイルに合わせてどのような事を変革していけばよいのかを考える能力を醸成する。

身に付く力／Special abilities to be attained

伝統産業界の歴史や製造過程を学習する事により、今後伝統産業（工房）を守り育てるためには何が課題で、どう解決するか考え、企画提案する能力を身に付ける。

履修上の注意／Special notes, cautions

教室での学習はやむを得ない場合以外欠席しないこと。

評価方法／Evaluation

毎回の授業終了前に出席票を兼ねてミニレポートを書いてもらう。そのまとめの小レポート50%、期末のレポート50%

教材／Text and materials

授業の都度、事前配布資料やコピーを配る。業界ごとのトレンド情報のビデオ映像を参考教材とする

その他／Others